

自分らしく安心して人生を送るために NPO法人 甲賀・湖南 成年後見センターばんじー設立

「成年後見制度」とは、高齢や障がいなどにより判断能力が十分でなくなった人が、財産を侵害されたり、人としての尊厳を損なわれたりすることなく、その人の人生を自分らしく安心して送ることができるよう支援するしくみです。

制度の活用を進めるため、このほど設立された「NPO法人 甲賀・湖南成年後見センターばんじー」について紹介します。

■権利を守り生活を支援する 成年後見制度

成年後見制度とは、高齢や障がいなどにより判断能力が十分でなくなった人が、その人らしく安心して暮らせるように本人の権利を守り、生活を支援する制度です。

制度を利用すると、裁判所が選任した後見人などが、判断能力が十分でない人に対して、必要な医療・福祉サービスなどを受けられるよう配慮したり、そのために必要な契約や財産管理などを本人に代わって行ったりします。

また、この制度には、すでに判断能力に不安がある人が利用する「法定後見制度」と将来判断能力が衰えた時に備え、あらかじめ自分で任意後見人を決めておく「任意後見制度」があります。

■制度に関する相談や活用のお手伝い

成年後見制度の活用を進めるため、甲賀地域では、甲賀市・湖南市が中心となり「NPO法人 甲賀・湖南成年後見センターばんじー」を設立し、制度に関する相談や活用のお手伝いをするセンターとしてこの10月から業務を開始しています。お気軽にご利用ください。

ばんじーにお気軽にご相談ください

「一人で暮らしており、悪質な訪問販売にあうのではないか心配。将来が不安」「障がいのある子どもがいます。親亡き後の子どものことが心配」など、このような悩みはありませんか。

また、「利用したいけど、どうしていいかわからない」など、お気軽にご相談ください。自分らしい人生を送るために、相談員と一緒によりよい方法を考えていきます。

相談のご案内

【相談員による相談】

●日時／月～金曜日 9時～17時
電話、窓口、訪問相談を実施しています。まずはお電話ください。

【専門職による相談】※要予約

弁護士による相談
●日時／第2木曜日 13時～16時
司法書士による相談
●日時／第4木曜日 13時～16時

【出張相談会のお知らせ】

●日時／場所
11月20日(水)／水口保健センター
12月18日(水)／土山開発センター
2月19日(水)／かふか生涯学習館
3月19日(水)／信楽保健センター
各会場13時～16時
※詳しくは、ホームページをご覧ください。

甲賀・湖南成年後見センターばんじー
甲南町野田810(甲南庁舎2階)
☎86-6161 / ☎86-6199
ホームページアドレス
<http://www.pan-g.com>

県境を越え広域連携や 交流の活発化を

鈴鹿山麓無限∞会議

鈴鹿山脈を境に三重県、滋賀県の近接した8市町が、政策の広域連携や交流の活発化を図る目的で設置した「鈴鹿山麓無限∞会議」の初めての会合が10月24日、三重県の菰野町役場で開催されました。

会議には、三重県から、いなべ市、菰野町、四日市市、鈴鹿市、亀山市、滋賀県からは、東近江市、日野町、甲賀市の8市町の代表が参加しました。

会長には菰野町の石原正敬町長、副会長には東近江市の小椋正清市長が選ばれ、産業や観光、文化などあらゆるテーマについて情報交換や提言を行い、連携を進めていくことが確認されました。

今後、この会議は年に2回開催される予定です。



▲発起人として連携強化の重要性を話す中嶋市長

子どもたちの健全育成のために

梨田元監督を囲んでの チャリティゴルフ大会開催

ダイヤモンド滋賀主催による「梨田昌孝氏を囲むチャリティゴルフコンペ」が10月22日、同ゴルフ場で143名が参加して開催され、収益金など100万円を当市へ寄贈いただきました。

この大会は、元北海道日本ハムファイターズ監督の梨田昌孝さんが、地元の青少年育成支援のためにと提案し毎年開催されているもので、今年で12回を数えます。

いただいた浄財は、甲賀市スポーツ少年団に寄付し、子どもたちの健全育成のために活用させていただきます。



梨田さんから目録書を受ける中嶋市長



文部科学大臣賞に輝いた甲南中部小学校秋花壇

FBC 秋花壇

甲南中部小学校が 文部科学大臣賞に輝く

県、県教育委員会、中日新聞社主催の学校花壇の出来栄を競う「フラワー・ブラボー・コンクール」で、県内73校が参加した中、甲南中部小学校の秋花壇が特別賞の文部科学大臣賞に輝きました。

メイン花壇のテーマは、「元気いっぱい中部っ子」で、6年生の林宏泰さんがデザインしました。真ん中の黄色いメランポジウムは、中部小の元気を表し、その周りの赤いサルビアやマリーゴールドは、みんなが飛び回っている様子がイメージされています。

同校では、9名のフラワー委員を中心に全校がメイン花壇の世話に取り組むほか、一人一鉢を育てており、花の栽培を通して命の尊さを学んでいます。

また、地域の方と協力して世話をしている校外花壇(野田地区)も入賞するなど、子どもたちや地域の方の活動が認められ今回の受賞に繋がりました。